

事業番号	08 02 02	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州首都圏総合活動拠点運営事業費			担当課	部局	観光部	
					課・局・室	山岳高原観光課信州ブランド推進室	
総合5か年計画	プロジェクト	9-1-4 信州ブランド確立プロジェクト			E-mail	<a href="mailto:brand@pref.nagano.lg.jp">brand@pref.nagano.lg.jp</a>	
	施策の総合的展開	1-2 強みを活かした観光の振興、2-1 魅力ある地域の創造と発信 1-2-1 選ばれる観光地域づくり、2-1-6 信州ブランドの確立			実施期間	H26 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 (カ) 観光の振興					

## 1 事業の概要

目指す姿	単なる物産館ではなく、信州のヒト、コト、モノをトータルに発信し、信州の美しさと健康な暮らしを、首都圏をはじめ、多くの人とシェア(共有)する。										
現状(予算編成時)	平成26年10月26日オープン。1階ではショップスペース&旬の信州味わいコーナーを、2階ではイベントスペース&観光インフォメーションコーナーを、4階ではコワーキングスペース&移住交流・就職相談コーナーを展開。 ・来場者数 801,445人、平均2,177人/日(オープンから10月31日までの368日間) ・イベント実施延べ団体数 延べ464団体(オープンから10月31日までの367日間)										
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 首都圏において効果的に「地域の広報発信」を行うには、市町村や民間団体といった個々の取組みに加え、全県的な取組みとして県関与が必要である。					県民との協働による実施: 実施中				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28) ・来場者数35万人 ・イベント実施延べ団体数300団体 ・拠点が関わった移住・1ターン就職者数100人以上 (拠点設置当初において、3年後を成果目標として設定)										
	② 事業内容 (単位:千円)										
		項目	実施方法	H28事業実績		H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)			
		銀座NAGANO発信事業	委託・直接	地域の課題を共有するイベントや地域への誘引に繋げるためのイベントを雑誌社とタイアップして実施するほか、マンスリーチラシやホームページ、SNSの活用によりPRを図った。		35,230	32,606	35,230			
		管理運営経費	委託・直接	観光案内による県内への誘客を図るとともに、イベントスペースの適正な管理を行った。		53,451	52,944	54,050			
	建物賃借料	直接	活動拠点の設置に伴う建物の賃借料を負担した。		82,881	82,881	82,881				
			合計		171,562	168,431	172,161				
事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	162,629	171,562	172,161				目標	成果		達成状況
	補正予算				来場者数		74万人	35万人	81万人	達成	78万人
	合計(A)	162,629	171,562	172,161	イベント実施団体数		延463団体	延300団体	延458団体	達成	-
	一般財源	114,521	144,576	145,061	移住・1ターン就職者数		88人	100人以上	99人	未達成	-
	県債										
	国庫支出金										
	その他	48,108	26,986	27,100							
	決算額(B)	162,498	168,431								
概算人件費	職員数(人)	5.25	5.25	5.00							
	概算人件費(C)	43,449	41,549	39,570							
概算事業費(B(A)+C)		205,947	209,980	211,731							
目標に対する成果の状況	来場者数については認知度の向上により、また、イベント実施団体数については実施主体の関心度が引き続き高い状況にあることにより、いずれも目標を大幅に上回った。移住・1ターン就職者数は目標には一歩届かなかったが前年度実績を大幅に上回った。										

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	在日外国人やインバウンド客を積極的に銀座NAGANOに呼び込むとともに、若年層や働き盛り世代への積極的な働きかけにより、信州ファンの裾野の拡大を図る。また、単なる一過性のイベントではなく、イベント参加を契機に地域への誘客・誘引につなげる取組により、引き続きコアな信州ファンや長野県に訪れていただく方々を増やしていく。